

ピローケース デザインの注意点

- カラーモードはCMYKモードで作成してください。(RGBモードでは、著しく色見が変わります。)
- フォントは全てアウトライン化してください。(文字化け、エラーの原因になります。)
- PhotoshopやEPS等の画像データを配置する場合は基本的にリンクの「配置」で作成し、配置画像データは本体aiデータと同じフォルダ内に入れてご入稿ください。(埋め込みも可能ですが、製版で画像の修正が必要な場合、当社で修正できません。)
- Machintoshの場合、ファイル名には拡張子(.ai .eps .psdなど)を付けて保存してください。
- illustratorの場合、メニューの「効果」内「ドキュメントのラスターサイズ効果設定」の解像度が「スクリーン(72ppi)」などの解像度が低い場合は、「ぼかし」や「ドロップシャドウ」のillustrator設定の効果が粗く印刷されます。
「高解像度」もしくは「その他」で画質350ppiなどをおすすめします。
- スクリーンショットや、PDFなどの確認用原稿を同梱いただくと、当社で頂いたデータが原稿通りかデータチェックさせていただきます。

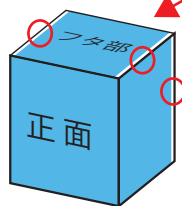
【デザイン(版下)データの作成方法】

- 箱の仕上がり一杯にデザインを入れる(フチなし印刷)場合は

塗り足しを仕上線より **3mm**つけてください。

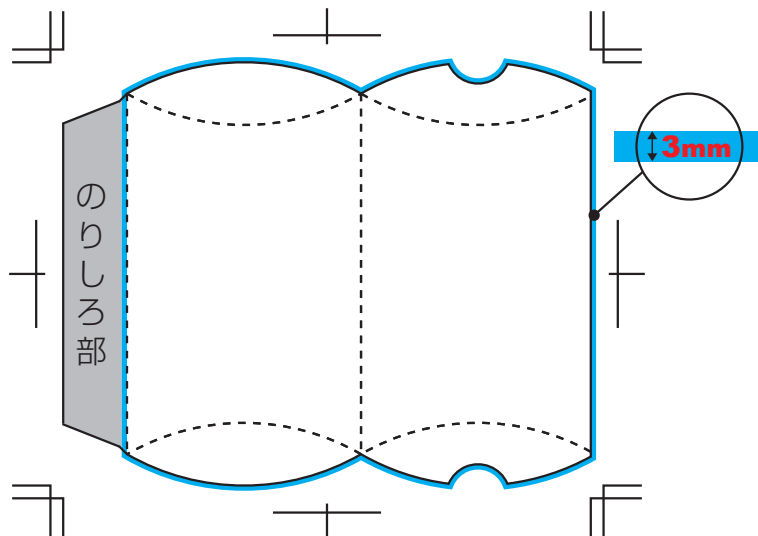
- ※塗り足しがない場合、箱の形状に打ち抜く際に多少のズレで紙端に白色(印刷されない部分)が出ます。

(ズレのイメージ図)



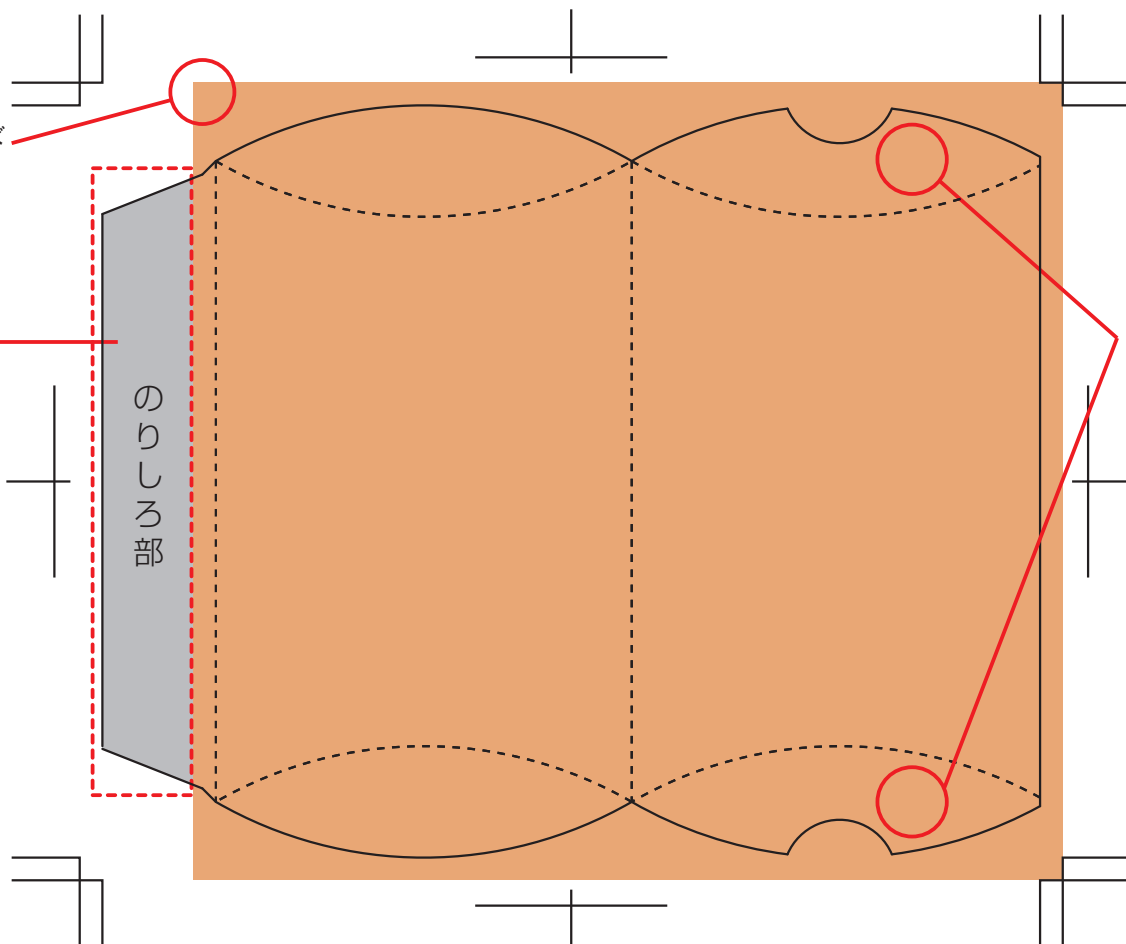
例(形状:ワンタッチ底箱)

- 塗り足し
- 実線 (仕上線)
- - - 点線 (折線)



コーナーの塗り足しは3mm以上あればこのように四角で大きくはみだしてもOKです。

※のりしろ部分3ミリ以上の塗り足しは不要です。



指孔があるフタがフタを閉じた時に隠れます。もちろんデザインは入れられます。

その他、ご不明点はお気軽にご相談ください。